

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式												
E132M003		家庭科授業研究(中等) (Studies in Teaching of Home Making (Junior High School))																		
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員														
選択	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用			氏名 財津 庸子  E-mail yzaitsu@oita-u.ac.jp 内線 7601														
授業の概要	中学校・高等学校家庭科の授業づくりについて、個人でテーマを決めて、教材研究・教材開発・模擬授業・省察・改善案作成を一貫して行うことにより、実践力を高める。そのために、附属中学校または公立中学校等での参与観察等を行い、教育現場での実際の指導の様子を学び、実際に活用できる教材開発を行い、模擬授業や可能であれば協力校での授業実践により検証し、改善案まで検討する。																			
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
目標1 家庭科指導法(中等)、家庭科授業論をふまえて、中学校・高等学校家庭科の授業づくりを構想する。																				
目標2 個人でテーマを決めて、教材研究・教材開発・模擬授業をする。																				
目標3 模擬授業や協力校での授業を省察し、改善案を作成する。																				
目標4																				
目標5																				
目標6																				
目標7																				
目標8																				
目標9																				
目標10																				
授業の内容																				
1 中学校・高等学校家庭科の授業づくりの基礎的事項の確認																				
2 中学校・高等学校家庭科の授業の参与観察																				
3 参与観察から学んだことについての討論とまとめ																				
4 テーマ決定のための実践事例収集と整理																				
5 中学校家庭科の授業づくりについての個人テーマの決定・計画作成																				
6 テーマに即した中学校・高校家庭科の教材研究1(実習を含む授業における教材)																				
7 テーマに即した中学校・高校家庭科の教材研究2(実習を含まない授業における教材)																				
8 教材開発1(実習を含む授業における教材)																				
9 教材開発2(実習を含まない授業における教材)																				
10 模擬授業1(実習を含む授業)																				
11 模擬授業の改善																				
12 模擬授業2(実習を含まない授業)																				
13 模擬授業の検証																				
14 教材および指導案の改善案作成																				
15 全体のふりかえりとまとめ																				
ラック ニテ ンイ グ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	実践例の収集・分析、授業の参与観察、教材研究・開発、指導案作成、 模擬授業、授業実践、				工 夫 そ の 他 の														
時間外学修 の内容と時 間の目安	準備 学修	中学校・高等学校の家庭科教科書・学習指導要領解説家庭編、参考書の講義該当箇所の予習(15h)																		
	事後 学修	中学校・高等学校の家庭科教科書・学習指導要領解説家庭編、参考書の講義該当箇所の復習(15h) 授業の参与観察の整理、教材研究・開発、指導案作成、模擬授業、授業実践(15h)																		
教科書	文科省 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編、 中学校家庭科教科書 文科省 高等学校学習指導要領解説 家庭編、 高等学校家庭科教科書 中学校家庭科教科書(開隆堂)																			
参考書	中西雪夫・小林久美・貴志倫子共編「小中学校家庭科の授業をつくる～5年間を見通すための理論と実践・基礎知識」学術図書出版(2023)伊藤葉子編著「新版 授業力UP 家庭科の授業」日本標準(2018)、責任編集 牧野カツコ・お茶の水女子大学附属学校家庭科研究会著「アクティブラーニングが育てる これからの家庭科」地域教材社(2017)																			
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10								
	レポート	50%																		
	課題	50%																		
注意事項																				
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。 実習をとまなう教材研究の場合、自己負担が生じることがある。																			
リンク																				
	URL																			

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	中学校・高等学校の家庭科教員
実務経験を いかした教 育内容	実際の教育現場における指導経験や専門的知識・技能が、学校教育現場の理解に基づく指導のあり方や指導案等に活かす。